

中病だより

自衛隊中央病院
総務部総務課発行
令和6年
第2号

着任の辞



令和6年4月1日付で、第17代自衛隊中央病院長を拝命した、鈴木 智史（すずき さとし）です。常日頃から自衛隊中央病院への多大なるご支援ご協力に対し、改めて感謝を申し上げます。

我が国は、極めて速いスピードで変化する、歴史的に最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しており、防衛力を抜本的に強化して抑止力を高め、同盟国や同志国との連携の強化を進めています。このような非常に重要な時期に歴史のある自衛隊中央病院で勤務できることは、無上の喜びであるとともにその重責に身の引き締まる思いです。歴代病院長を始めとする諸先輩方が築き上げてきた、自衛隊中央病院の良き伝統を大切にしながら、「救命率の更なる向上」のために、地域の医療の一翼を担いつつ、「衛生機能の変革」を先頭になって推進し、成し遂げるために全力を尽くす所存です。

着任にあたり、統率方針を「信頼され魅力ある自衛隊中央病院の創造」として院務を運営していきたいと考えています。普段から、質の高い医療を効率的に提供するとともに、衛生科隊員に対する教育訓練の中心的な役割を果たし、事態対処時には治療・後送の中核拠点となることで、隊員、患者、国民から「信頼」されることが、加えて、勤務する職員や衛生科隊員にとっても「魅力」のある病院を創り上げていきたいと思えます。

これを実現するために、職員に対して、3点要望いたしました。1点目は「即応」で、事態発生時に適切に任務が果たせるように、普段は「作戦準備」と捉え能力向上に励み、発生時には「即応」し、任務に邁進することです。2点目は「挑戦」で、一人一人が「衛生機能を変革」するエンジンとなり、新たな取り組みに果敢に「挑戦」し、自衛隊衛生を牽引していくことです。3点目は「誇り」で、国の防衛のために重要な役割を担う、自衛隊の「最終後送病院」である当院で、「誇り」をもって勤務に邁進することです。

職員一人一人が持っている知識・技術・英知、行動力と情熱を結集し、これらを組織化して、病院一丸となって「信頼され魅力ある自衛隊中央病院」を創造していくために、先頭に立って専心努力し、職務に邁進する所存です。引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

自衛隊中央病院長

防衛技官 鈴木 智史



副院長（陸）
陸将 平山 健一

令和6年4月1日付で自衛隊中央病院副院長兼ねて企画室長を拝命しました陸将平山健一です。よろしくお願ひ申し上げます。前職の自衛隊阪神病院長兼ねて川西駐屯地司令では、新型コロナウイルス感染症の流行と自衛隊大阪大規模接種センターの運営担任官として右往左往しながらも、関西の食事と人情にどっぷりつかって4年間楽しく勤務させていただきました。自衛隊中央病院には小児科部長として平成22年3月から23年11月、衛生資材部長として平成30年3月から同年7月まで勤務していましたが、中病には6年ぶりになりますが、帰ってきたら私の年齢は58歳になり浦島太郎のごとく以前一緒に勤務された先輩も既に定年で病院を去ってしまった方が多く少し寂しく感じる次第です。しかし、病院勤務員が昔以上に診療、看護、研究など精力的に向き合い患者のために中央病院の医療を支える姿をみて非常に頼もしくも感じました。さて、「年々厳しくなる我が国の安全保障環境」は定型文のようになりつつありますが、実際に予断を許さない情勢にあり、それに伴い自衛隊各隊の編成や訓練も実際の状況を想定したままです。この状況下で自衛隊衛生の中核である自衛隊中央病院の運営に参画する立場に置かれたことに焦燥を感じつつ身が引き締まる思いです。非才の身ではありますが鈴木病院長を核心とし、統率方針「信頼され魅力ある自衛隊

中央病院の創造」のもと中央病院がますます魅力あるものとなるよう運営に邁進する所存ですので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



副院長（海）
海将 小川 均

『海副院長、放射線技師養成所長、そして医療安全・感染対策室長を拝命致しました。このたびの着任にあたり、大変重責であることを痛感し、身の引き締まる思いでおります。放射線技師の育成においては、質の高い教育と臨床現場での実践力を重視し、未来を担う技術者の成長を全力でサポートしてまいります。また、医療安全と感染対策は、全ての患者さんと医療従事者の安心・安全を守る要であり、これまで以上に取り組んでいく所存です。皆様との協力を大切にしながら、最善の医療環境を築いてまいりますので、引き続きご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。』

と、『副院長就任に際しての挨拶』ということでチャット（CP）が作成してくれ、当たり障りのない、かつ若干仰々しい表現の文章につけ加えるとするならばできれば現場目線で状況・情報の確認を意識し、ともすれば大所帯の組織では起こりがちな縦割り業務による弊害を限局化し、本質的な問題解決をできる範囲で心掛けたと考えています。自衛隊中央病院は、前回の第3外科部長の配置以来約5年半ぶりの勤務で、その間、臨床から離れていたこともあり、日進月歩の医療業界の中にあっても痛感しております。前配置の海上幕僚監部首席衛生官では、少子高齢化が進行する日本の状況、戦傷

【第59回関東放射線技師
教育施設体育大会】
診療放射線技師養成所
○優勝 (卓球)
○準優勝 (バレーボール)
○準優勝 (バドミントン)

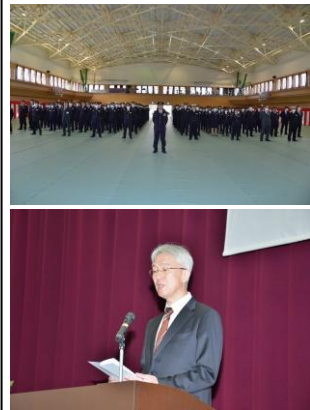
感謝状等

【沖縄県八重山警察署長】
○安心安全な地域づくりに貢
献した功績
3等陸佐 今野光彦
(診療科)

【海上保安庁長官】
○護衛艦あけぼのの医務長とし
て人命救助の功績
2等海尉 一尾幸輝

村上海将退官

自衛隊中央病院副院長 村上
健彦海将は、令和六年三月二十
八日、桜舞い散る中、国防の任
を全うされ退官された。海上自
衛官の音楽隊に所属経験のある
田中2海曹のフルート生演奏の
音色が華を添え、多くの職員に
見送られ、最後は『帽振れ』で
病院を後にした。



鈴木新病院長着任

令和六年四月一日付で、第17代
自衛隊中央病院長、として鈴木
智史病院長が着任された。
平山副院長以下病院主要幹部の
出迎えを受けた。
着任行事では、平山副院長率い
る病院職員に、『即応・挑戦・誇
り』を要望し、『信頼され、魅力
ある自衛隊中央病院の創造』を統
率方針として示した。
病院は、鈴木病院長を核心とし
て目標にまい進する所存である。

ファミリーマート オープン

令和六年四月一日、病院内の
売店スペースにファミリーマー
トが新規オープンした。
ファミリーマートブランドの
お得な食品や日用品も豊富に取
り揃えています。また、便利な
サービスとしてATMや公共料
金の支払い、各種行政サービス
も利用可能で、病院内での利便
性が一段と向上した。オープン
初日には多くの買い物
客で店内は大変な賑わ
いであった。
病院はより
一層利便性
向上に努め
ていく。



保健管理センター便り 【保健相談班】

自分でできる健康管理

メタボリックシンドロームにつ
いてご存じでしょうか？メタボ
リックシンドロームは生活習慣病
予備群です。内臓脂肪蓄積を必須
項目として、高血糖、脂質異常、
血圧高値の3項目のうち2項目以
上を満たす場合に診断されます。
内臓脂肪蓄積は、腹囲(ウエスト
周囲長)で評価します。腹囲が、
男性85cm以上、女性90cm以上が
内臓脂肪面積男女ともに、一〇〇
cm以上に相当します。
生活習慣改善により、体重、腹
囲が減少することでメタボリック
シンドロームが改善されます。
自分で測定ができ、管理できる
のは、**体重・血圧・腹囲**です。
正しい測定方法を知り、測定を習
慣化し健康管理していきましょう。
アプリ等を活用すると、日々測定
した値を記録するだけでなく、見
やすいグラフで自分の健康状態の
把握に役立てることが出来ます。

【体重測定のポイント】

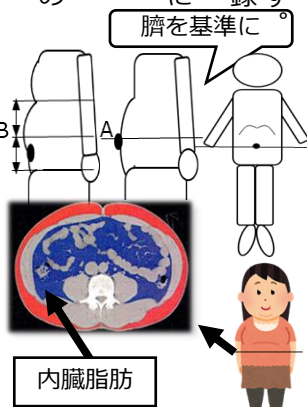
① 体重は、毎日測定することで、
体調の変化を知ることが出来ます
② 同じ条件で測定し、結果を記録
する。(起床直後推奨)
③ トイレをすませてから体重計に
乗る。
④ イベント等を記録する。
⑤ グラフで、経年変化をみる。
⑥ 変化があったときは、その前の
生活を振り返る。

【家庭血圧測定のポイント】

① 家庭血圧とは、自身が自宅で測
定する血圧のことです。

- ① 上腕血圧計を選ぶ。
- ② 測定回数は、原則一機会に二
回とし、二回の測定値の平均値
を記録する。一機会に一回のみ
測定した場合、一回のみの血圧
値をその機会の血圧値とする。
- ③ トイレを済ませ、一〜二分椅
子に座ってから測定する。
- ④ 時間帯は、朝と晩
朝は起床して一時間以内の排
尿後、朝食摂取や服薬前
晩は、就床前
- ⑤ 測定前に喫煙、飲酒、カフェ
インの摂取は行わない。

- ① 臍の高さAで計る。
おなかの脂肪で臍の位置が垂
れ下がっている場合、あばら骨
の一番下と、骨盤の出っ張って
いるところの中間Bで計る。
- ② 両足を揃えた立位で、緊張せ
ずに腕を両側に下げる。
- ③ 軽い呼吸(はき出した)の終
わりにメモリを読む。
- ④ 巻き尺が、背中や腰に水平に
巻かれるようにする。
- ⑤ 巻き尺が腹部にくい込まない
ように注意する。
- ⑥ 食事による測定誤差を避ける
ために、空腹時に測定する。



まずは、日々の測定を習慣化
し、自分の健康状態を知って、
健康管理をしましょう。

職業能力開発センター 入所式

自衛隊中央病院職業能力開発センター（センター長・大堀健防衛事務官）で四月四日、第69期生の入所式が行われた。

国歌演奏、入所生の任命後、学生長が代表してセンターへの入所を申告した。

来賓祝辞では、防衛省人事教育局齋藤敏幸給与課長が登壇し「皆さんが同期の絆を深め、健康に十分留意しつつ、全てのカリキュラムを修了し、更なる飛躍を遂げて職務に復帰することを祈念する。」と激励の言葉を述べた。

入所生は、一年又は六か月の間、それぞれの履修科において、各人の目標に向け、知識・技能、各種資格等を習得し、部隊復帰後それぞれの職務において貢献できるよう研修することとなる。

職業能力開発センターでは、「公務災害等により障害を負った隊員がおられたら、ぜひ入所を検討してもらいたい。部隊復帰に向けてしっかりとサポートしている。」としている。



平安幼稚園児による 入院患者慰問

六月十日、平安幼稚園児十三名が当院を訪れ入院患者を慰問してくれました。

年長さんは元気な足取りで病棟のディールームに登場すると、会場は明るく笑顔になった。

園児たちは一生懸命練習してきた歌やダンスを披露し、自然と手拍子が起こり、ほっこりした時間となった。

また、園児たちは、手作りのメッセージカードやお花を持参し、患者や看護師の代表者に手渡すと、温かい言葉とともにかわいいた顔を届けてくれた。小さな手で心を込めたプレゼントを渡す姿に、患者さんたちも思わず顔をほころばせ、和やかな雰囲気が広がった。

幼稚園児にとっても、人々を励まし、助け合う大切さを学ぶ貴重な経験となっていればと思う。



大量傷者受け入れ訓練 モンゴル軍訓練視察

病院は、七月十二日及び十三日にモンゴル軍への能力構築支援として大量傷者訓練へ招聘した。

モンゴル中央病院副院長ルブサンドルジ・ルブザン大佐以下9名は初日に訓練概要などの詳細な計画について説明受けをし、十三日に実際に訓練視察を実施した。

UH-60や東京消防庁の大型ヘリで患者空輸を行うなど、その訓練規模の大きさに非常に感心されていた。

特に関心を持っていたのは、これほど大規模な訓練を整齊と実施するための訓練計画の立案や訓練の統裁要領であった。

自国軍での訓練実施に資するために細かなところまでよく確認していた。

意見交換会では、長らくモンゴル能力構築支援に携わってきた、札幌・永田1佐と更なる災害対処能力向上に向け、活発な意見交換を行った。



東方オピニオンリーダー 病院研修

病院は、六月二十一日、東部方面隊オピニオンリーダーの三宿駐屯地研修に協力し、病院の施設研修を行った。

研修に先立ち会長、副会長など4名とオピニオンリーダーに同行してこられた東方行政副長の表敬を受けた。

病院の概要について説明した後、屋上ヘリポート見学、感染症病棟及び1類感染症対応病室を刺殺されたのち、研究棟に移動し、ハイブリットモデルについて概要説明と、実際に各種ハイブリットモデルの研修を実施した。

ハイブリットモデルを使用したDCS（ダメージコントロール手術）について説明を受けると、一様に感心していた。

一連の研修によって、自衛隊中央病院の理解促進につながったと感じた。



